

中小企業タイムズ

11月号

2011年
第660/235号
(毎月1日発行)

今月の見どころ

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1面 郡内交流会を開催 | 6面 山梨大学「ただいま研究中!」 |
| 3面 各業界の現状について | 7面 各種情報をご提供 |
| 4・5面 会員組合の活動をご紹介 | 8面 地場産品販売促進チーム活動紹介 |

定価100円
昭和36年4月10日
第三種郵便物認可発行所 山梨県中小企業団体中央会 甲府市飯田2-2-1 中小企業会館4階 TEL 055(237)3215 FAX (237)3216
http://www.chuokai-yamanashi.or.jp e-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

10月の出来事

●時事

- 1日 生肉用牛肉の新基準施行、厚生労働省
- 9日 県内初の脳死判定
- 13日 喫煙率が過去最低21.7% JT

●山梨県中央会ニュース

- 12日 郡内交流会、第7回正副会長会議
- 20日 全国レディーズ中央会フォーラムin大阪
- 26日 青年中央会代表者会議
- 27日 全国中央会55周年記念式典

11月の予定

- 6日 中小企業ゴルフコンペ
- 11日 平成23年度組合青年部全国講習会
- 17日 第63回中小企業団体全国大会
- 28日 第8回正副会長会議



講師の指田朝久氏



研修会場の様子

●上野原工業団地事業(岡守屋博文理事長・岡高基調など、中小企業の経営にとって厳しい局面であるが、生き残るためには、自社の技術を磨き、品質を高めるしかない。経費の削減を行うとともに、同業他社との連携を深めていく。

●河口湖温泉旅館(岡外川誠理事長・新宿駅東口広場で「オール河口

湖キャンペン」と銘打ち、うちわを配り、「暑いうちは河口湖へ」と呼びかけた。食中毒発生時には、他のホテルが代わりに受け入れる、また、静岡バスとの防災協定、中野区との受入協定などを締結し、不測の事態への備えを行っている。

●都留食糧(岡井出澄理事長・スーパーコンビニでも米が売られ、地域の小売店は年々厳しくなっている。山梨県一円に安全・安心な米を卸すのが組合の役割である。国の検査を通過した安全な米を販売していく。

●山梨県絹人織物工業組合(渡辺教一事務局長・4回目の海外出展として、中国上海展に富士吉田、西桂の6社が参加する。過去の経験を踏まえ、生地と製品を区分けして、出展する。また、造形大学生と若手経営者の交流による新商品開発などの支援も行っていく。

最後に、この交流会が、会員組合や企業の事業活動の振興・発展の一助となることを願い、閉会した。

山梨県中小企業団体中央会は、10月12日(水)午後2時から富士吉田市「ハイランドリゾートホテル&スパ」で、郡内地域の会員組合の役員・組合員企業、行政関係者等約百名が参加し、「第15回郡内地域組合交流会」を開催した。

はじめに、郡内地域の役員を代表して細田副会長から開会のあいさつがあり、続いて内藤会長は、「本県の中小企業の経済環境は、リーマンショックの影響というより、バブルの崩壊から完全に立ち直っていない状況である。このような中、3月の東日本大震災及び原発事故、現在の円高基調など、これまで経験したことのない課題解決を迫られている。組合は、厳しい状況の時こそ、「不撓不屈」の精神を組合の原点である共同

の力に結集し、一枚岩となって困難に立ち向かい、次を見据えた活動を展開していくことが必要である。」とあいさつを述べた。

来賓として、堀内山梨県産業労働部次長、原田山梨県富士工業技術センター所長、柏木富士吉田市産業観光部長の3名が出席し、代表して堀内山梨県産業労働部次長からあいさつが述べられた。

研修会では、NPO法人事業継続推進機構の指田朝久副理事長が「リスク社会で勝ち抜くためのリスクマネジメント」をテーマに講演を行った。指田副理事長は、「地球規模で見ると、15年に一度は東日本大震災と同じマグネチュード9クラスの地震が発生している。地震考古学の観点から地震を捉えると、本当の想定外

は少ない。想定範囲は経営者の判断の問題である。BCP計画は、被害を受けたことを前提に立てる計画であり、残存する能力で優先すべき業務を継続させ、許容されるサービスレベルを保ち、かつ許容される期間内に復旧できるように、前もって代替リソースの準備を行うこと、災害発生時の対処方法や組織を想定することが必要である。」と述べた。

意見交換会は、勝俣副会長の座長により行われ、業界の取り組みや事業等の現状や展望、中央会等に対する意見・要望などの発言があった。

湖キャンペン」と銘打ち、うちわを配り、「暑いうちは河口湖へ」と呼びかけた。食中毒発生時には、他のホテルが代わりに受け入れる、また、静岡バスとの防災協定、中野区との受入協定などを締結し、不測の事態への備えを行っている。

●都留食糧(岡井出澄理事長・スーパーコンビニでも米が売られ、地域の小売店は年々厳しくなっている。山梨県一円に安全・安心な米を卸すのが組合の役割である。国の検査を通過した安全な米を販売していく。

●山梨県絹人織物工業組合(渡辺教一事務局長・4回目の海外出展として、中国上海展に富士吉田、西桂の6社が参加する。過去の経験を踏まえ、生地と製品を区分けして、出展する。また、造形大学生と若手経営者の交流による新商品開発などの支援も行っていく。

最後に、この交流会が、会員組合や企業の事業活動の振興・発展の一助となることを願い、閉会した。



主催者あいさつを述べる内藤会長

第15回郡内地域組合交流会を開催

中小企業の「労災リスク」に備えて 「業務災害補償制度」を企業の実情に応じて、 二種類の制度から選択ができるようになりました。

商品は、いずれも全国中小企業団体中央会が実施する共済制度です。

役員・従業員の業務中の災害を補償する「Jプラン・スーパーJプラン」、役員・従業員の業務中の災害補償に加え、従業員の業務災害に伴う法律上の損害賠償の責任負担をセットで補償する「経営ダブルアシスト」の二種類を、10月1日からスタートしました。

労災事故の補償は、政府管掌の労働者災害補償保険がありますが、補償の高額化による企業の補償責任に加え、近年は、メンタルヘルス不調などの企業側の安全配慮義務違反に起因する使用者賠償が増加しています。

このような業務災害リスクに対して、全国団体のスケールメリットを生かした低廉な掛金で加入できる補償制度となっています。

▶ Jプラン・スーパーJプラン

「Jプラン・スーパーJプラン」（引受保険会社：三井住友海上火災保険株式会社）の補償内容は、役員・従業員の業務中の災害に対して、死亡・後遺障害保険金、入院保険金、手術保険金、通院保険金が支払われる制度です。

制度の特徴は、①保険料は、補償の対象者数（Jプラン）または売上高（スーパーJプラン）から選択ができ、一般の保険料の約42.6%割引、②政府労災の認定を待たずにスピーディーに保険金が支払われる、③加入時に補償対象者の名簿提出の必要がなく、加入手続きが簡単、④保険金を会社受取とすることができる、⑤保険料は全額損金処理ができる等となっており、比較的小規模な企業においても導入しやすい制度となっています。

▶ 経営ダブルアシスト

「経営ダブルアシスト」（引受保険会社：東京海上日動火災保険株式会社）の補償内容は、役員・従業員の業務中の災害に対する、死亡保険

金、後遺障害保険金、入院保険金、手術保険金、通院保険金の支払いに加え、企業に対して労災事故により使用者に法律上の賠償責任が課せられた場合の損害賠償金・弁護士費用の支払い、及び、死亡保険金・後遺障害保険金の負担を企業が臨時に課せられた場合の事業主費用保険金の支払いがセットになった制度です。

制度の特徴は、①保険料は、売上高から算出され、一般の保険料より最大約52%割引、②政府労災の認定を待たずにスピーディーに保険金が支払われる、③従業員の増減時の報告は不要で、パート・アルバイト等も自動的に補償対象となる、④保険金を会社受取とすることができる、⑤保険料は全額損金処理ができる、⑥建設業の場合は下請業者も補償対象となり、経営事項審査制度の加点ポイントとなる等となっており、役員・従業員の業務災害補償に加え、使用者賠償責任補償を含めた企業防衛を考える全ての企業に導入いただける制度となっています。

企業存続に向けたリスク管理の重要性の認識が高まっているいま、中央会会員組合の加入企業の皆様には、業務災害リスクに備えて「業務災害補償制度」への加入をご検討されてはいかがでしょうか。

詳しくは、山梨県中小企業団体中央会、又は、各引受保険会社までお問い合わせ下さい。

※この「業務災害補償制度」（普通傷害保険・一般傷害保険）は、概要を紹介したものです。加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をお読み下さい。

今年の祭り会場に思う

ibuki

息吹

B級ご当地グルメの祭典「B・1グランプリ」と言えば、「甲府烏もつ煮」が昨年グランプリに輝き、堂々の殿堂入りを果たしたことは記憶に新しい。その普及に努める「みなさまの縁をとりもつ隊」のゆるきやら「とりもっちゃん」や「えんまるくん」が、今年は県内の祭りなどイベント会場によく見かけるようになった。

県内には大小様々な祭りがあるが、今年は夏以降に様相が一転した。暴力団抗争による露天商排除の動きである。賑わいの演出・客寄せに欠かせない露天商の出店が見込めないことで、自治体など主催者は、生産農家やその加工業者、商工業者・団体などに広く参加を呼びかけた。結果としてイベント会場では、ご当地ならではの特産品・加工品・グルメなど地域色豊かな内容に様変わりした。「みなさまの縁をとりもつ隊」など、地域ブランドの確立を目指して活動している団体・グループなども着実に増えている。

「B・1グランプリ」に戻るが、出展者は飲食店ではなく、まちおこし団体であり、そのため「出店」ではなく「出展」、「販売」ではなく「提供」という表現を使用している。ひしめき合う露天商の賑わいや情緒を懐かしむ方もおられるかもしれないが、この機会に地域の魅力を楽しみながらわかりやすく伝え、地域社会の活性化に繋げていくことを目的とした「まちおこし」のイベントとして、更に工夫を凝らして欲しい。いつか第2・第3の「甲府烏もつ煮」が生まれ全国に名が知れることを願っている。

●山梨県中小企業団体中央会情報連絡員報告

本県の9月の景況は、全業種のDI値が、売上高－34(前年同月比－20)、収益状況－32(前年同月比－6)、景況感－38(前年同月比－12)となっており、業種別のDI値では製造業で、売上高－40(前年同月比－25)、収益状況は－35(前年同月比－15)、景況感－35(前年同月比－20)。非製造業で、売上高－30(前年同月比－17)、収益状況－30(前年同月比±0)、景況感－40(前年同月比－7)となっている。

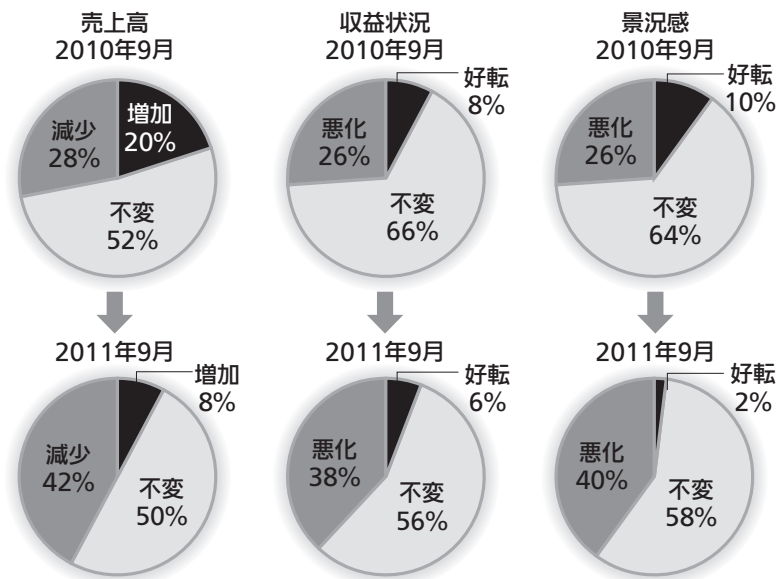
全体の前年同月比では、全項目でDI値が悪化傾向にあるものの、全体の前月比では、売上高、収益状況、景況感の全ての項目で2～4ポイントの改善が見られる。

業種別では、製造業の前年同月比は全項目においてDI値は悪化、前月比では売上高のみが10ポイントの悪化。非製造業の前年同月比では、収益状況が±0である以外は、ポイントを下げている。前月比では、景況感で3ポイントの悪化となり、他はDI値が僅かに回復している。

情報連絡員による県内の9月の業況報告では、前月に引き続き製造業、非製造業ともに円高による原材料費等の高騰と海外との取り引き面での影響や先行きを懸念するコメントが目立っている。

また、天候不順や二度に及ぶ台風の影響による業績不振なども多く報告されており、中小企業を取り巻く経済環境は、依然として先行きが不透明な中にある。

データから見た業界の動き(平成23年9月分)



業界の動き

平成23年
9月分



トピックス

情報連絡員には、景気動向の変化、現状とその背景などについて、業界または組合員全体の動向・予測(売上高・原材料等経費・資金繰りなど)についてコメントを求めた。

業界から一言

製造業

●食料品(水産物加工)／震災の影響で低迷していた婚礼用食料は、回復傾向にあるが、台風の影響で土産品は不調となった。

●食料品(洋菓子製造)／自社ブランド製品は、前年並みを確保。しかし、円高メリット以上に小麦粉、砂糖、バター等の原材料が高騰しており採算的には厳しい状況。

●繊維・同製品(繊維)／円高の影響で数年間継続していたアメリカ、カナダ向けストールの受注が無くなった製造問屋(通常時売上高の20%を占める。)がある。

●繊維・同製品(繊維)／仕事業、質とも昨年並みに持ち直してきた。しかし、先行き

は不透明。

●木材・木製品製造／3・11以降受注量が減少。暫くはこの状況が続く模様。

●窯業・土石(生コン)／主要原材料の値上げ、燃料費の高止まりにより収益が圧迫されている。このため、生コン価格の値上げを検討中である。

●一般機器／一定の仕事量が確保できないところがある。

●電気機器／コスト競争で、受注の奪い合いになっており、厳しい状況下での経営が続いている。

●その他(貴金属)／いまだに金融品市場の影響による経済市況の悪化に歯止めが掛からない。

非製造業

●卸売(紙製品)／流通量の減少に伴う取扱量の減少のため競争激化、仕入金額増。

●卸売(ジュエリー)／素材である金、プラチナ等の地金、ダイヤの価格が高騰(前年同月比金126%、プラチナ106%)し製造が困難な

状況にあったが、9月後半に地金が下落した。日本ジュエリーフェアは、例年並みの売上を上げ、「香港フェア」もその売上だった。

●小売(商店街)／震災や二度の台風等の影響で消費低迷。今後の回復に期待。

●小売(青果)／雨などの天候不順により野菜など入荷減。価格は前月比15～20%上昇。

●小売(食肉)／牛肉の放射能汚染・生食の衛生基準強化等の問題で牛肉の売上が昨対60%まで落ち込み単価の高い商品が売れずに、売上は大きく落ち込んだ。

●小売(水産物)／二度にわたる台風被害により道路等のインフラ被害の影響は、小売業の経営に多大な損害を与えた。

●小売(電機製品)／地デジへの切替から2ヶ月が経過し予想以上の販売不振に見舞われている。

●小売(石油)／9月は、世界経済の先行き懸念と円高ドル安により中東原油が大幅

に下落し、県内の石油製品もガソリンを中心に8～10円程度値下りしたため給油所の経営は厳しい状況になっている。

●不動産取引／住宅地の販売は順調。事業用地の販売は低迷。賃貸物件の賃料は下降。

●宿泊業(1)／シルバーウィーク等、一度の連休があつたが台風の影響によりキャンセルになった宿も多かった。震災から半年が過ぎ、国内客はほぼ戻りつつある。

●宿泊業(2)／震災後、旅行者は戻ってきた。ただし、前年同月に比べ個人旅行者は回復傾向にあるが、ツアー客や団体旅行客が落ち込んでいる。

●美容業／相変わらず美容院数の過剰感があり競争が激しいため、単価の安い美容院へと客足が流れている。

●建設業(総合)／倒産企業もでてきており依然として厳しい状況がある。上期の工事量は、単月では前年比を上回った月もあるが、全体的に

マイナスイ基調にある。

●建設業(型枠)／大震災により材料が高騰しているにもかかわらず、型枠工事の単価はむしろ下落しており、仕事はあるものの苦しい経営が続いている。

●建設業(鉄構)／4～9月の物件数は、前年比50%減。鋼材価格は値上りしており、鉄工所は資金繰りのため、ゼネコンからの鋼材支給の取引が多くなっている。

●設備工事(管設備)／市等からの工事の発注数、設計単価等も厳しい状況が続いている。

●運輸(タクシー)／二度の台風により客足が減少。中央線身延線の不通により駅利用の客も少なかった。

●運輸(トラック)／荷主各社が中間決算のため、そこそこの荷動きがあつたが10月以降の動きは例年になく不透明である。円高が重なり、ますます悪くなる一方。燃料の価格も気になるところである。

業界の声

●山梨県味噌醤油工業協同組合

理事 五味 善幸氏

業界の現況と今後の展開

当業界は近年、県外資本企業の進出や原材料の値上げ等により厳しい現状となっています。特に原材料の値上げは、この業界に大きな影響を与えます。私どもの商品は「熟成」を要しますので、原材料の値上がりをするに商品価格へ転嫁しづらい面があるのです。また、パン食が増える等の食生活にも変化が起きており、味噌汁を食べる習慣が少しずつ薄れつつあります。それらの変化もまた、業界に大きな影響を与えています。

このような状況下ではありますが、業界でも様々な対策を行っています。その中の一つが、山梨ブランドの「甲州調合味噌」です。この甲州調合味噌は、山梨県産の大豆のみを使用しており、米麹と麦麹を混合して製造した味噌です。それらの味噌には「甲州調合味噌認証マーク」を付けています。

また、作るだけではなく、山梨のワイン・ぶどう・富士山等の観光資源を活用し、新たな販売促進を進めていきたいと考えています。山梨県内に観光で訪れた際に、その観光ルートの一つとして、味噌作り体験や味噌の製造過程見学等を実施し、それにより山梨の味噌・醤油を知って頂ければと思います。

これら以外にも、味噌・醤油の需要開拓として、県内外で開催される各種イベント等にも積極的に参加しています。また、「味噌・醤油」を子供たちにももっと知ってもらいたいと学校等を訪問し、味噌作り体験なども実施しています。

今後、今までの考え方にとらわれない多彩なアイディアを生み出すべく、また守るべき伝統は継承し、今以上に美味しい「味噌・醤油」を作っていきたいと考えています。



「甲州調合味噌認証マーク」が付いたあわせみそ

農業まつりに出展

ACTIVE KUMIAI

山梨県農業機械商業協同組合



山梨県農業機械商業協同組合（岩間英雄理事長）は、10月15・16日（土・日曜日）の両日に甲府市の小瀬スポーツ公園の芝生広場で開催された農業まつりに出展した。当日は農協や地域の農業者などのグループによる新鮮でおいしい農産物、加工品などの安価による販売、山梨県農業大学の学生などが精魂込めて作った野菜や花などの販売が、安全・安心で美味しい県産食肉の試食・販売が行われた。

農業まつりは、森林で育まれた山の幸や、木の温もりを感じ、木工品など、森林の恵みを感じさせた「森林のフェスティバル」、地域のお店の商品や地域資源を活用した商品や技術など、地域の企業の魅力を紹介した「商工会まつり」「やまなしのお宝発見」、参加業者が自信をもって提供する商品の即売や、県産食材を使ったメニューの試食など、山梨の魅力発信した「やまなしの県産品フェア」の4つのイベントで構成され、山梨県内で生産される農畜水産物、林産品、地場産業製品を一堂に集めて紹介し、ふるさとの特産品について多くの方に広く利用促進を図ることを目的として開催された。組合としても、当日は、アンケート調査及び組合PRチラシの配布を行い、アンケートに答えていただいた方には野菜栽培キットを渡すなど、多くの来場者に対し、組合のPRを広く行った。

最近、専業の農業従事者の高齢化が進み、遊休農地や耕作放棄地が多く見られる中で、家庭菜園や週末農業を行う一般の人が増えており、農業機械をホームセンターで購入する人、ネットオークションで探す人もいる。

組合では、このような状況の中、活動を盛り上げ、活気を出していくことが活性化にも繋がると考え、今後も各種イベントに出展し、業界のPRを行うこととしている。



TOPICS 大月商店街協同組合

「大ツキ軽トラ市」

盛大に開催

ACTIVE KUMIAI

10月22日に大月駅周辺の国道20号を歩行者天国にして60台以上の軽トラックが集まり、取れたて野菜や大月にちなんだグッズなどを販売する「大ツキ軽トラ市」が初開催された。

このイベントは、大月駅周辺整備事業（南側）が平成24年3月に完了予定であり、これを一つの契機として中心市街地に活気を取り戻し、賑わいのある街として再生していくため、大月商店街協同組合（小俣孝理理事長）の組合員などで構成する「にぎわいづくり社会実験実行委員会」（小俣孝理委員長）が展開している大月市賑わいづくり社会実験事業の一環として、市民や大月短大などの協力を得ながら実施された。

同事業では、駅前を中心とした賑わいづくりとして、大ツキやけ市の開催、大ツキメニューの開発と大月うみやーもんフェアの開催、大月情報Q&A冊子の作成、街歩き・山歩きマップの作成などを行っている。また、商店街を中心とした賑わいづくりとしては、おもてなしステッカーの作成・掲示、おもてなしベンチの設置、大月ブランド・大月グッズの開発と販売、パワースポットとしての「5神社めぐり」、大月軽トラ市などを行っている。

軽トラ市に合わせて20日から11月2日まで、同市出身の落語家三遊亭小遊三さんの写真展「小遊三展」が展示施設「まち宿り」で開催される他、22日には、「大月阿波踊り」の群舞、ご当地ヒーローである「LUCKY戦隊ツキレンジャー」のショー、餅つき大会、二胡演奏など「つき」にまつわる様々な催しが行われた。



また、街なかの魅力の再発見と回遊性向上のため、「大月散策ラッキーマップ」を配布するとともに隠れた見所の整備を進めている。

TOPICS 関東甲信越食肉連絡協議会

第48回関東甲信越食肉連絡協議会 通常総会山梨大会開催！

ACTIVE KUMIAI



会場風景

去る10月20日に、第48回関東甲信越食肉連絡協議会（小松有会長）通常総会山梨大会が開催された。本総会は、関東甲信越に所属する1都9県が持ち回りで毎年行っている。48回目となる今回は、開催地となった山梨県食肉事業協同組合連合会（高野修一会長）、山梨県食肉生活衛生同業組合（杉田正孝理事長）が当番幹事となり行われた。



岩野 秀夫
大会実行委員長



小松 有
関東甲信越食肉
連絡協議会会長

梨県大会岩野秀夫実行委員長が歓迎の言葉を述べた。続いて、関東甲信越協議会小松有会長が座長となり、平成22年度の活動報告及び決算報告、平成23年度の事業計画及び収支予算について審議された。

表彰式典では、組合活動に尽力された方々に対する表彰状の授与が行われ、受賞者を代表して、山梨県佐々木秀則氏に表彰状が手渡された。

記念講演は、「生産情報公表JASの認定と運用」をテーマに、甲州ワインビーム生産普及組合長・小林牧場代表取締役社長の小林輝男氏が、消費者からの信頼確保のための有効な手段として、JAS規格の検査認証制度に基づく特色ある生産情報公表の導入について講演を行った。

懇親パーティーでは、(株)よしもとクリエイティブ・エージェンシー所属のお笑い芸人や、デキシールランドの演奏などのイベントが行われ大会を大いに盛り上げた。

第19回美容まつり 毎年恒例のビューティーフェスティバルを開催

ACTIVE KUMIAI

山梨県美容業生活衛生同業組合



開場と同時に多くの来場者で賑わった

10月10日、甲府市緑が丘の山梨県美容会館・美容専門学校において、山梨県美容業生活衛生同業組合・深澤仁理事長は、恒例の美容まつりを開催した。今年で第19回を迎える美容まつりは快晴に恵まれ、会場に訪れた子供からお年寄りまで幅広い年代層が、秋晴れの日を楽しんだ。

開会式は、組合員や美容専門学校の生徒など関係者が出席し、開場を待つ多くの来場者が見まもる中、盛大に開催され、深澤理事長、山形校長のあいさつの後、来賓の祝辞と紹介が行われた。

当日は、支部組合員による産地直売コーナーや専門学校の生徒たちによる、かた焼きそば、タコライス、フランクフルト、フライドポテト、パンケーキ、豚汁などを提供する屋台村コーナーが屋外会場に開設され多くの来場者で賑わった。また、館内に開設された美容体験コーナーでは、恒例となった専門学校生によるネイルアートやエステ、シャンプー＆ブローなどの無料体験コーナーが今年も大好評で、目当てに訪れた来場者が列をつくった。

こうした企画・イベントは、専門学校生にとっては、日頃学んでいる美容技術を披露する絶好の機会と、お客さまに接する貴重な体験の場になっている。

また、同じく恒例のお楽しみ抽選会には、特賞の折りたたみ自転車やウォークマン、アイポッド、お米(2kg・5kg各30本)など目玉景品の他、午前午後あわせて合計1000本の景品が用意され、来場者の長い列が続いていた。



専門学校生による屋台コーナー

山梨の美酒を味わう

ACTIVE KUMIAI

山梨県酒造組合



酒談義に沸く会場

山梨県酒造組合(小宮山光彦会長)は、10月14日「山梨の日本酒 ふあいとじやばん」を二部構成で開催した。一部では、全国利き酒大会の山梨県予選会を甲府駅ビル「エクラ」で230名が参加し開催した。7種類の日本酒の味や香りから同一の銘柄を当てるマッチング方式で、制限時間15分以内で行われた。上位2名が、10月21日に東京で開かれた全国大会に県代表として出場した。

二部の試飲会では、山梨県内の蔵元7社が熟成した自慢の酒4種類計27点が持ち寄られた。今年は、各蔵元が醸造に使用する仕込み水や酒粕を活用して開発したラスク等も振る舞われた。

清酒の販売数量は年々減少し、10年前の6割程度しかない。

県内においても、地酒を取り扱う飲食店が少なくないため、甲府駅周辺の地酒取扱店と銘柄を記載した地図を、周辺ホテル等を中心に配布した。

小宮山会長は、「地酒は、地域の文化です。個性豊かな地酒を通して、出会いや人の繋がりを作ってもらいたい。名水で醸した山梨の日本酒を是非味わって欲しい」と語った。



全国聞き酒大会山梨県予選会

レディース中央会 全国フォーラムに参加

ACTIVE KUMIAI

山梨県中小企業団体中央会女性部会



参加者の皆さん

10月20・21日の両日、平成23年度「レディース中央会全国フォーラム in 大阪」が、「つながらう日本!!」女性の力で中小企業の活性化をテーマに、大阪府大阪市「ホテルニューオータニ大阪」で開催された。本県からは11名、全国からは約320名の女性経営者、経営者夫人、

組合の女性役員が参加した。

第1部事例講演では、『おいしいお菓子をつくりたい』と題し、株式会社青木松風庵代表取締役青木啓一氏が、わずか25名でお菓子製造を始め、大阪、和歌山、奈良の売上高No.1の企業となった、社長自らが商品開発を行う味へのこだわりと最高のおもてなしについて語った。

続いて、第2部基調講演では、『できるやんか!人間って欠けているから伸びるんや』と題し、千房株式会社代表取締役中井政嗣氏が、経験と踏まえた独特の持論を元に、欠けていることは恥ずかしいことではない。何の努力もしないことが恥ずかしい。過去は変えられないけど、現在と未来は変えられると実践に基づいた教育論・人間論を展開し、人材教育も手掛けている。合い言葉は「できるやんか!」。「一介のお好み焼屋から全国へ展開するビジネスへと成長させたナニワの名物社長ならではの熱のこもった講演を行った。

交流会では、全国からの参加者が地域を越えてテーブルを囲み、情報交換や親睦を深めた他、大阪を代表するお笑いコンビによる漫才や、ノリのいい河内音頭「河内おとこ節」を参加者全員で踊るなど大いに盛り上がった。



基調講演を行う千房の中井政嗣氏

TOPICS

TOPICS

「消防団協力事業所表示制度」について

地域の安心・安全を守るために…事業所様のご理解とご協力が不可欠です

社会経済の進展に伴い、産業構造や就業構造が大きく変化し、本県では消防団員の約8割が被雇用者となっています。

このような状況の中で、消防団員を確保し、消防団の活性化を図るためには、被雇用者が入団しやすく、かつ消防団員として活動しやすい職場環境の整備が求められます。

事業所が、従業員の入団促進や勤務時間中の消防団活動に積極的に協力することは、地域の防災体制の充実に資するとともに、地域社会の構成員として防災に貢献することとなります。

消防団協力事業所表示制度とは

消防団の活動に積極的に協力している事業所を、各市町村が「消防団協力事業所」として認定し、「表示証」を交付する制度です。

「消防団協力事業所」として認められた事業所は、取得した表示証を社屋に表示でき、表示証のマークを自社ホームページなどで広く公表することができます。

事業所の社会貢献が広く認められ、信頼性・イメージが向上するとともに、地域防災体制の一層の充実が図られます。

認定を受けたい事業所の方は

まずは、消防団協力事業所表示制度導入市村（23年4月4日現在、9市村）にお問い合わせください。



「消防団協力事業所表示制度」表示マーク

全面
施行

改正育児・介護休業法等 説明会のご案内

情報

BOX

平成24年7月1日からはこれまで一部適用が猶予されていた従業員数が100人以下の事業主においても改正育児・介護休業法が適用になります。

本説明会では平成23年度均等・両立推進企業としてファミリー・フレンドリー企業部門山梨労働局長奨励賞を受賞したパイオニア・マイクロ・テクノロジー株式会社による事例発表や改正育児・介護休業法、助成金等に関する説明、人事労務ご担当者の意見交換会を行います。是非ご参加ください。

日時 平成23年11月8日(火) 13:30～16:00

内容

- ▶ 均等・両立推進企業表彰授与式
- ▶ 受賞企業による事例発表……（パイオニア・マイクロ・テクノロジー株式会社）
- ▶ 改正育児・介護休業法、ポジティブ・アクションについて
- ▶ 助成金について
（両立支援助成金、中小企業両立支援助成金、均衡待遇・正社員化推進奨励金）
（山梨労働局雇用均等室）

▶ 個別相談会／意見交換会

※説明会終了後に受賞企業と、ご参加の人事労務ご担当者との意見交換会を実施します

主催 山梨労働局

場所 山梨県自治会館 講堂 1階（甲府市蓬沢1-15-35）

定員 120名（事前にお申し込みください）

参加費 無料

●申込先…山梨労働局雇用均等室（電話055-225-2859）



●山梨大学 研究室訪問

第34回

ただいま、研究中!

このコーナーは、「地元大学と中小企業の橋渡しのきっかけ」にと、山梨大学の先生と研究を紹介するために企画されたものです。

紹介にあたっては、中央会の職員が大学の研究室におじゃまし、できるだけ分かりやすい言葉で記事を書くようにしています。そのため、研究内容が正確に伝わらない場合がありますが、ご容赦下さい。



●山梨大学教育人間科学部

准教授 松本 潔 博士（理学）

大気中における粒子状物質の動態と環境への影響の解明

■先生の研究分野を教えてください。

地球化学、特に大気化学を専門としており、大気中の様々な化学成分を計測して、それらの大気中における動態や生態系への影響を研究しています。その中でも特に、PM (Particulate Matter)（粒子状物質：エアロゾルともいう）に注目しています。自動車の排ガス規制に係る物質で、SPMやPM2.5という環境基準もあります。PMは直接粒子として大気中に排出されるものと、窒素酸化物や硫黄酸化物などガス状物質として排出されたものが大気中で光化学反応などにより粒子に変化したものに分類されます。またPMには、人為的に放出されたものの他、元来自然に存在するものも数多くあり、波しぶきが乾燥したものや黄砂などもPMに含まれます。PMが核となって水蒸気が集まり凝結し、雲がつくられます。

私の研究では、PMを環境中で計測して、その環境中における動態、どのような気象条件下で濃度が上がり、どのように大気から除去されるかといったメカニズムの解明を目指しています。また、PMが植物にどのような影響を与えるかといった生態系への影響も研究テーマです。

■具体的な研究内容は？

一つ目は、大気中の窒素化合物の動態とその環境に与える影響についての研究です。自動車の排ガスなどに含まれる窒素酸化物は硝酸ガスを経てPMに変化し、海や森に沈着すると栄養分となって生物生産を支えることもあります。農地などから放出されるアンモニアも同様です。いずれも地球上での窒素成分の循環に関わる重要な成分です

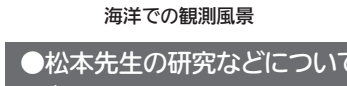


林地での観測風景

が、過剰になると酸性雨や富栄養化、土壌の酸性化などを引き起こします。また、これら窒素化合物はガスとPMのいずれの形態でも存在しますが、ガスとPMでは大気からの除去過程や大気中の輸送距離が異なり、その分配は濃度分布や地表への降下量を左右します。この研究では、大気中において、硝酸やアンモニアなどの窒素化合物がどのような条件下でガスになり、PMとなるか、また大気から降水によってどのくらい洗浄されるか、降水のない条件下ではどのくらい除去されるのかを研究しています。

次に、有機物や黒鉛のような炭素化合物のPMについての研究も行なっています。PMは直接太陽光を散乱・吸収する性質があり、その中でも水に溶けやすい成分は雲をつくり、PMの量が多いと雲粒が多くなり太陽光を反射しやすくなります。温室効果気体による地球温暖化への影響については、現在かなりの精度で見積もられています。増えたCO₂だけで考えるとずっと温暖化しているのですが、そこにはPMの寒冷効果による相殺の影響があることが近年の研究でわかってきました。しかし、PMやその雲による寒冷化の見積りは不確実であり、気候変動予測における課題となっています。この研究では、大気中に雲の凝結核になり得るPM、その中でも炭素化合物がどのくらい存在するのか、その化学的性質、雲の凝結能力について研究しています。

海洋での観測風景



その他生態系への

影響についての研究では、森林への大気汚染物質の降下量の計測を行なっています。森林は地球上の生態系として生物の現存量が最も多く、二酸化炭素の吸収・排出量も最も大きいなど、炭素循環において大変重要な生態系といえます。その森林が大気汚染物質の増加によってどのような影響を受けているのかを知りたいのですが、観測例に限られており、研究着手段階にあります。

■今後の研究の可能性について

PMの計測は難しく、通常行われているフィルターに集める手法では、集めた段階で大気中での状態と変わってしまい、データに狂いが生じます。PMは小さいものから大きいものまで様々なサイズがあり、いかに正確なデータを出せるかが課題です。最初から計測値には不確かさがあるということを前提とした上での議論も重要です。近年の計測技術の向上により、サンプリングの時間が大幅に短縮され微量な成分の計測も可能になってきましたが、それでもまだ十分とはいえません。より高度な計測技術が求められています。また山地や海洋上など様々なフィールドでの調査が必要であることから、可搬型で安価な、バッテリー駆動の装置の開発が望まれます。健康に関わるなど新たに監視が必要な物質が見出されると、これに関する計測装置の開発も進み、重要と伸びると予想されます。一方、数値シミュレーションなどと組み合わせて花粉や大気汚染物質の飛散量を予測するなどのソフト面での応用も考えられます。

窒素化合物などの大気への排出量が増大しており、地球環境に様々な影響を及ぼしています。PMの研究を通して、地球のメカニズムの一端の解明と環境対策の前提となる確かな知見の蓄積に貢献していきたいと思っています。

●松本先生の研究などについてのご相談がありましたら、山梨大学 産学官連携・研究推進機構（TEL:055-220-8759, FAX:055-220-8757）までお気軽にご連絡下さい。

明日を、かなえる。

みんなのために、ひとりのために

しんきん
バンク

Face to Face

甲府信用金庫
(055-222-0231)

山梨信用金庫
(055-235-0311)

ATM
全国19,900台

しんきんキャッシュカードなら、全国のしんきんATMで、
平日・土曜のご利用手数料が無料で、ご利用できます。
(一部対象外のATMがございます。)

面接会参加企業募集中

山梨県シルバー人材センター連合会では山梨労働局より委託を受けてシニアワークプログラム地域事業を実施し、55歳以上の高齢者の就職・就業支援をしています。

「ヘルパー2級」「タクシー乗務員」
合同面接会

●平成23年12月14日(水) 13:30～
甲府市「ベルクラシック甲府」



*面接会参加企業を募集しています。詳しくは下記までお問合せ下さい。

山梨県シルバー人材センター連合会

〒400-0035 甲府市飯田3丁目3-28
Tel.055-228-8383

山梨県中小企業団体中央会が推進する
安い掛金で 大きな安心

自動車共済

24時間事故受付で、緊急連絡にそなえて万全の事故処理体制をとっています。万一の事故のときは、顧問弁護士や専門職員が示談交渉にあたり、解決するまで協力します。

関東自動車共済協同組合
山梨県支部

〒400-0035 甲府市飯田 4-4-2 自動車共済ビル
TEL 055-237-8331 (代)

事業主の皆さまへ 毎月勤労統計調査のお願い

毎月勤労統計調査は、賃金や労働時間、雇用の変動を明らかにすることを目的に、統計法に基づいて厚生労働省が実施している、国の重要な統計調査です。調査は事業所単位で行います。

調査は、2種類あります

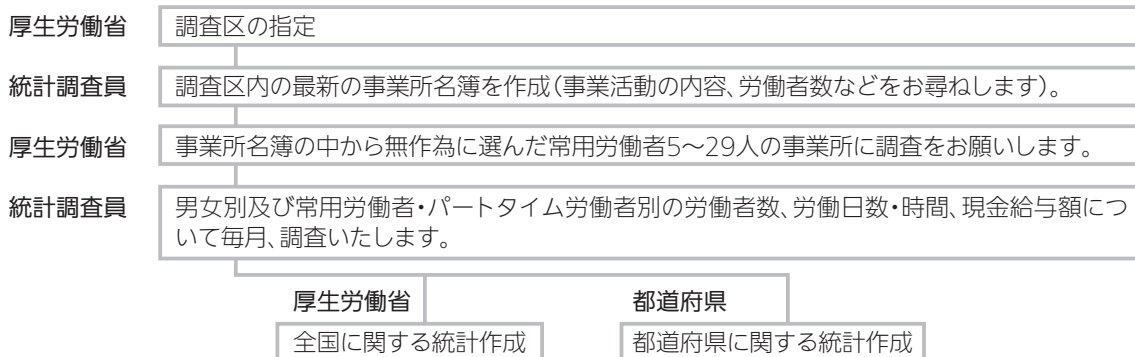
5人以上の労働者を雇用する事業所対象
毎月勤労統計調査
毎月実施

1～4人の労働者を雇用する事業所対象
毎月勤労統計調査 特別調査
年1回(7月)実施

調査対象の事業所は、一定のルールに基づいて、無作為に選ばれます。

調査対象に選ばれた事業所の皆さまには、調査へのご理解とご回答をお願いいたします。

調査の流れ



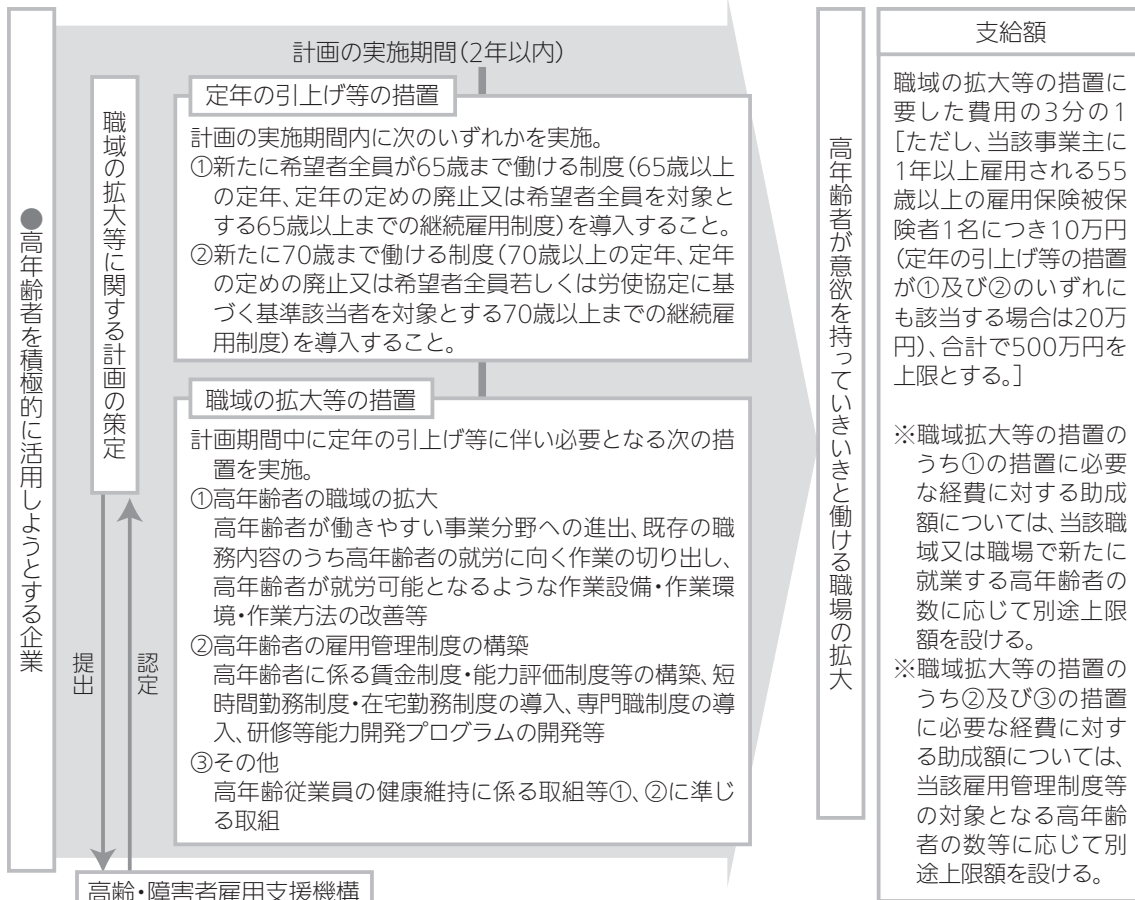
詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください

▶ トップページ → 統計情報・白書 → 各種統計調査結果 → 分野別一覧 → 7.雇用 → 毎月勤労統計調査
<http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/30-1.html>
厚生労働省 大臣官房統計情報部 雇用統計課・都道府県

情報 BOX

定年引上げ等奨励金 高齢者職域拡大等助成金

高齢者の意欲と能力を活かすため、希望者全員が65歳以上まで働くことができる制度の導入または70歳以上まで働くことができる制度の導入にあわせて、高齢者の職域の拡大や高齢者の雇用管理制度の構築に取り組み、高齢者がいきいきと働ける職場の整備を行う事業主に対し、当該取組に係る経費の3分の1に相当する額を、500万円を限度として支給する。



●奨励金・助成金の申請・ご相談は…山梨高齢・障害者雇用支援センター(TEL:055-236-3163)まで

編集後記

鮮やかな紅葉の季節となりました。山梨県内でも、JR甲府駅から車で20分足らずでたどり着く昇仙峡は、国の特別名勝にも指定されている景観を誇っています。約4kmにわたって続く渓谷には、主峰の覚円峰を筆頭に、珍しい岩や数々の美しい滝が点在しています。標高差があるため1ヶ月以上にわたってモミジやサクラ、ナナカマドなどの紅葉が楽しめます。今後、寒さに向かう季節となりますが、風邪などご健康にはくれぐれもお気をつけください。

●ご意見・ご要望は、
中小企業タイムズ編集班まで

TEL 055-237-3215 FAX 055-237-3216
E-mail
webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

365日。24時間。

トラックは毎日走り続けています。
雨の日も、風の日も、暑くても、寒くても、
生活に必要なものを運ぶために、今も全国各地を
走っています。
それは、国内貨物輸送の9割以上を担っているという責任がある
から。
私たちは、安全に、確実に荷物を運ぶために、「運転安全マナ
ジメント」など具体的な安全対策やコンプライアンスの徹底を
行っています。
また、かけがえのない環境を未来に残すため「アイドリングス
トップ運動」や「低公害車の導入促進」などにも積極的に取り組
み、一歩ずつ確かな前進を続けています。
トラックは、私たちの暮らしを支えている大事なライフラインと
して、これからも走り続けます。

トラックが運んで守る 生活（くらし）と環境

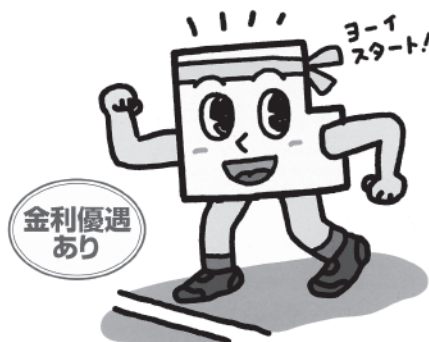
(社)山梨県トラック協会(環境保全対策委員会)
(社)全日本トラック協会
後援/山梨県 関東運輸局山梨運輸支局

山梨中央銀行

www.yamanashibank.co.jp/

山梨中銀 創業支援ローン

ファインスタート



- 最大1,000万円
- 無担保でのお取扱い
- 第三者保証人不要

※審査結果によっては、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめ御了承ください。

くわしくは山梨中央銀行の窓口
またはフリーダイヤルへどうぞ 0120-201862 受付時間 月曜日～金曜日 9:00～17:00
ただし、銀行休業日は除きます。



さいたま市大宮で開催した「山梨フェア」(9/17～19)

9月から10月に入って、物産や観光など地域資源にちなんだ各種イベントが県内外各地で開催された。当会「特産品市場開発チーム」も、県産品の利用を来場者にアピールするため、ほぼ毎週各地のイベントに参加した。

県内の地場産業製品(和洋菓子類、麺類、漬物など)を中心に地域特産品(主に農林産物の加工品:桃のシロップ漬、ジャム、ウコン茶、味噌、乾しいたけ、竹炭製品、鳥もつ煮など)や一次産品である果物や野菜類などの食品類を展覧し、来場者にその良さをアピールし販売につとめた。

いずれのイベントも心配した震災等の影響もなく、例年並みの来場者を集め会場はにぎわった。当会からの出展企業も、熱心な販売姿勢により予想を超える売り上げを記録し、おおむね順調であった。

販売商品別にみると、屋外イベント会場では、加熱するなど調理加工したメニューが高い売り上げを示した。「ソーセージ焼き」や「吉田のうどん」、「鳥もつ煮」には長い行列ができた。消費者の地産地消の意識も高くなっており、これを反映して、生産者が直接販売した農林産物加工品も安定した売上を示した。

一方、大型店における販売は、大型店同士の競争激化や消費者の商品選別の厳しさから、容易に売上を伸ばすことは難しかったが、知名度の高い商品(信玄餅、黒玉、清泉寮乳製品)や手造り商品(いも羊羹、チーズケーキ)は健闘した。



「勝沼ぶどうまつり」で賑わいを見せたパンコーナー(10/1)



中央市スーパーでの「県産品販売キャンペーン」(9/17～19)

県内外各地のイベントに参加し、
県産品の利用促進をアピール!

昨年度、一昨年度は、中央会スタッフが商品販売に関する知識を身に付けるため、商品を直接仕入れ、売場に立ち、対面販売を行った。本年度は、企業出展を主体とし、スタッフは身に付けた販売知識を基に商品の搬入・搬出、展示、販売のサポートなどを行った。生産者である企業の社員が直接販売することにより、自社商品に対する消費者の意見を収集することにより、意匠の向上や品質の改善などに役立つ機会となっているものと期待している。

なお、11月以降も「日比谷ヌーボーまつり」「県民の日記念行事」「B級ご当地グルメよっちゃばれ市」など各種イベントへの参加を予定している。